

令和2年度図書館事業実施報告及び令和3年度図書館事業計画、豊川市子ども読書活動推進計画令和2年度進捗状況報告書に対する図書館協議会委員意見への回答

(1) 令和2年度図書館事業実施報告

意見	回答
<p>平成30年度、67万8千人（前年比増加102%）まで来館者数を大きく伸ばしてきたが、残念なことに令和元年度91.3%、令和2年度66.9%と減少した。全館実施事業の多くを中止せざるを得なかった報告も、国や県による新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言、またその延長下、感染防止対策に努める観点からやむを得ない。同様に、館外貸出冊数も126万2千冊（平成30年度）から、令和元年度91%、令和2年度82.5%と減少した。</p> <p>一方、電子図書館における貸出冊数は、平成30年度3600冊から令和元年度109%、令和2年度151%の5972冊に急増した。コロナ禍、電子書籍の需要の高まりを顕著に見ることができ、今後も状況を想定し、電子図書館利用サービスの充実を図っていくことが大切と考える。</p>	<p>了解しました。</p> <p>新型コロナウイルス感染症により、中央図書館は令和2年3月2日から令和2年5月25日まで、分館は5月31日まで臨時休館となりました。また、その後も閲覧席やイベントの参加人数を半数程度に減らすなどの感染症対策を現在も引き続き行っており、その影響により来館者数は減少しています。その分、平成28年2月から開始した電子図書館サービスは需要が高まっており、令和2年度には12月補正により電子書籍を大幅に増やし、9,394ライセンスとしました。今後も需要は伸びていくものと考えますので、電子図書館サービスの充実を図ってまいりたいと考えています。</p>
<p>なぜ館内貸出を考慮しないのか。禁帯出資料の利用が分からない。</p>	<p>禁帯出資料等については館内貸出のみのご利用となっているが、館内貸出は手続き等をせずに自由に館内で閲覧でき、数値として把握できないため。</p>
<p>なぜ新聞購入種類が違うのか。誰がそれを決めるのか。雑誌とはまた違う問題。</p>	<p>分館については豊川市への合併前から購入していた新聞を引き続き継続して購入している場合が多い。また、実際に利用される地元の人からの要望（ご意見）を受けて、購入を検討し、決定している。</p>

(2) 令和3年度図書館事業計画について

意見	回答
<p>大イベントとして盛況を見せた「図書館まつり」の記載があるが、春も、秋も中止なので削除（それとも後、「中止」とされる予定?）。困難な時こそ、可能な行事・イベント、展示で少しでも本を紹介して知識と情報を提供し、想像力や豊かなコミュニケーション力を育てる事業の展開を望む。</p>	<p>令和3年度の事業計画は令和2年度の予算編成の段階から考えており、4月の段階では「図書館まつり」も実施を想定していました、しかし、緊急事態宣言により本年度も中止せざるを得ない状況となってしまいました。しかしながら、他部署に比べますと、本図書館では、感染症対策を実施する中で、多数実施しているものと考えております。今後も感染拡大状況を注視しながら、感染対策や予防措置を実施して可能な行事・イベントは実施してまいりたいと考えております。</p>
<p>予定通り、できると良いと思います。</p>	
<p>令和3年度もたくさん楽しい取り組みを考えてくださり、感謝しかありません。やっとコロナの措置がとれ、今が一番できる時期かもしれません。色々大変かと思いますが、どうぞこれからも、よろしく願いいたします。</p>	

(3) 子ども読書活動推進計画の進捗状況について

意見	回答
<p>「15 読み聞かせボランティア等養成講座について」。実施なしとあるが、検討はされましたか？検討の結果によりR3に見直しということでしょうか。</p>	<p>R2は新型コロナの影響で実施を見合わせましたが、養成講座の実施方法を再検討しました。R3からも引き続き、「養成講座」と「スキルアップ講座」を隔年で実施していきます。</p>
<p>「16 子供向け手作り絵本講座の開催」について。12月に実施されたようだが、状況に「コロナ」とあるのは、なぜでしょうか？（その他は中止とありますが、それが理由でしょうか？）</p>	<p>12月に開催はしましたが、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、定員を半数に減らして実施し、その他にも中止したイベントがありコロナの影響を受けているため「コロナ」と記載しました</p>
<p>「26 見学会」コロナ禍のもと、4回も実施できましたか？ 「27 図書館検定」も+175名は◎ですね。</p>	<p>令和2年度は9月後半から4回実施しました。小学4年生のプラネタリウム見学前に図書館体験を実施しましたが、人数が多い場合は見学時にクラスを2つに分ける等の工夫をし、密を避けて実施しました。</p>
<p>「28 読書週間等の行事の充実について」。「コロナ感染防止のため実施なし」とあるが、秋10/27～11/9の期間中、啓発が可能だったのでは？</p>	<p>読書週間等の行事の充実を図るためのマンガ、ライトノベル、アニメデーの開催については、令和2年度は新型コロナのため開催できませんでしたので、実施なしとしました。ただし、期間中ほぼ毎日おはなし会は実施しました。</p>
<p>令和2年度報告書によれば、目標10%以上達成◎5件、ほぼ達成○19件、10%以上下回り△1件・35の○の実施内容が「該当なし」としているが、○でよいか？または該当なしという「見直し」をしたことで○か？</p>	<p>35は、元々令和2年度は該当なしで0件の計画。0件で計画どおりです。今後の方針について検討しました。</p>
<p>「36 おすすめ本紹介リーフレット」は活用されていますか？R3の評価によってはR4以降はなくなる可能性もありますか？</p>	<p>中央図書館では「こども読書の日記念展」で「おすすめ本紹介リーフレット」を配付したり、レファレンスでの要望があった際に活用しています。R3で評価をし、内容の検討を行います。</p>

<p>「49 読書週間について」。「中央図書館のイベント情報や各学校での取り組みなどを相互に話し合う啓発活動を実施→学校教育課の担当者と協議。現在の職員体制では実施は難しいのではとのこと。」取り組みが行われない補足説明をいただきたい。</p>	<p>学校教育では現在、教員の多忙化解消が急務で実施時期が延期されています。</p>
<p>「コロナ禍の影響を受けた割合」が「51 件」中の「19 件」で 46.3%としているが、<math>19 \div 51 = 37\%</math>ではないか？</p>	<p>分母は、令和 2 年度に開始、実施、評価、継続などのアクションを伴う予定だった事業 41 件が分母となりますので、<math>19 \div 41 = 46.3\%</math>です。</p>